

セアカゴケグモについての注意点！！

セアカゴケグモは、もともと熱帯地方に見られるクモですが、国内に入ってきて居ついてしまいました。西宮市内では平成12年に初めて確認されましたが、現在は市内各所で確認されています。



セアカゴケグモの成虫



巣と卵のう

セアカゴケグモの特徴

- 体が黒で、背面に赤い帯状の模様、腹面には赤い砂時計模様がある。
- 体長は1cm程度(足を除く)で腹部は丸い。
- 卵のう(中に数百個の卵が入っています)は、直径1cmぐらいの乳白色の球体。
- 毒性があり、咬まれると痛みを伴って赤く腫れるなどしますが、攻撃性はありません。

潜み場所 (裏面の写真を参考)

- 植木鉢・プランター 側溝・グレーチング 会所(雨水枡) ブロック フェンス ベンチ 古タイヤなど、地表近くにある物のすき間や裏側。

対処方法 (裏面の写真を参考)

- セアカゴケグモを見かけた場合は、殺虫剤を吹き付けるか、靴で踏みつぶし、巣の周囲にも殺虫剤を散布する。
- 卵には殺虫剤が効きませんので、卵がある場合は、踏みつぶした後、ビニール袋などに入れて、しっかりくっつけて処分してください。

留意点

- 駆除や清掃などを行う際は、必ず軍手など(厚みのある手袋)を着用してください。
- 攻撃的なクモではないので、**素手で触らない**限り咬まれることはありません。
- 万一咬まれた場合は咬まれた箇所をすぐに水で洗って清潔にし医療機関に相談してください。
- 巣を作らせないため、側溝等の清掃を行い、屋外に物を放置しないように心がけてください。